

本州最北端生まれの極上ワイン

ブドウの果実をつぶし発酵させて造られるワイン。緯度30～50度のワインベルトと言われる地域には、フランスやイタリア、チリなど美味しいワインの産地がたくさん含まれていて、日本もちょうど当てはまります。明治時代に山梨から始まった日本のワインは、全国各地でその土壌や気候に適したブドウの品種や醸造方法などから、様々なワインが造られています。

本州最北端にある青森県下北半島、むつ市で誕生した下北ワインは、雪対策に何十年も苦勞しながらも、除草剤や化学肥料を一切使わず、減農薬で栽培したブドウから生まれた国産100%のワインです。特に、栽培が難しいとされるフランスのブルゴーニュ地方原産のブドウ品種ピノノワールを大切に育み、厳選して醸造されたワインは、国産ワインコンクールで金賞のほか、世界でも高く評価されています。

日本ワインはその繊細な味わいから、和食との相性もとてもよいそうですよ♪同じ陸奥湾の恵みを受けた帆立はもちろん、県産の肉や野菜と一緒にじっくり味わうのも素敵ですね。(利野)



種差ヨガ

三陸復興国立公園内の種差海岸は、日本の白砂青松100選、遊歩百選、美しい日本のあるきたくなるみち等に選ばれており、国の名勝に指定されています。天然芝生が波打ち際まで一面に広がる全国的にも珍しい海岸です。多くの文人や画家を魅了した場所で、以前の加久の屋便りで紹介しましたが、作家の司馬遼太郎さんは、他の星からの訪問者に地球の美しさを教えるため、一番先に案内したい海岸と讃えています。

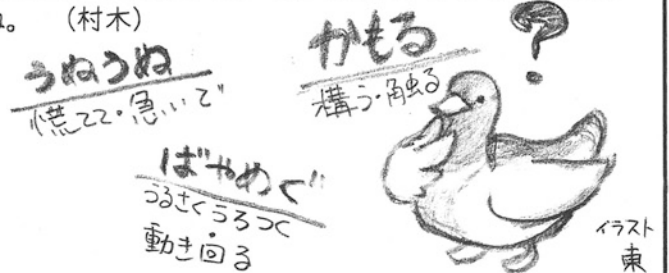
そんな素晴らしい景観の天然芝生地で「種差朝ヨガ」が今シーズンも9月末までの期間限定で毎週土曜日に行われています。朝日にきらめく波、どっしりした岩に芝生の緑、そして空と海の青、波の音や野鳥のさえずり、潮の香り。朝の新鮮な空気の中でインストラクターの指導のもと風を感じながら心身をリフレッシュすることができます。難しいポーズがないので、身体のかたい初心者でも楽しめますよ。予約なしでどなたでも気軽に参加できます。(参加料500円)

朝ヨガの後は、種差インフォメーションセンター前にある「からくり水飲み場 ウミネコ飛翔」でひゃっこい(冷たい)水をどうぞ♪ (橋本)



「うぬうぬど
けんどわだれいば
ひがれるろ」

これは、弘前市近郊の道路で見つけた標語です。さて、何のことか分かりますか？青森県は、地域ごとに津軽弁・南部弁・下北弁の3つの方言に分かれていて、弘前市は津軽弁です。「注意を促すものだから馴染みの方が効果的！」とのことですが、県外の人には意味が通じず戸惑ってしまいますよね。八戸在住南部弁の私も悩みました。さきほどの標語は「慌てて道路を渡るとひかれるよ」だそうです。ほかにも、「赤信号いとまが止まれ ばやめぐな」これは何となく分かります。「赤信号 一旦止まれ。ウロウロしちゃダメだよ」こういう津軽弁は街中に出没していて、道路の電光掲示板には「急げばまいねよ(ダメだよ)」工事中では「めやぐ(迷惑) かけます」公園の池には「鴨かもるな!(触らないで)」…ダジャレみたいです。弘前市に行った時は、看板を見つけて解読して歩くのも楽しいかもしれませんね。(村木)



《お客様のお声をお聞かせください》

この紙面や八戸情報に対するお便りの他、「〇〇おいしかったよ。」「こんな食べ方が美味しい」といった商品に対するお便りなど、なんでも結構です。お寄せいただいたお客様の喜びの声、ご意見を元に、商品やサービスの向上に反映させていきたいと思っております。※今後、味の加久の屋からの情報をご不要という方は、お手数でも、ダイレクトメールの封筒を、同封の返信用封筒にお入れになり、ご返送ください。

の
か
く
の
や
便
り

平成29年
第62号

イラスト
東